

えひめの社会資本整備

本県においては、急峻な地形や脆弱な地質に加え、海岸線が長いこと、自然災害が発生しやすく、かつ整備に多額の経費が必要となっており、道路や下水道など、総じて社会資本整備が遅れています。このため、対策の必要な浸水被害箇所や土砂災害危険箇所等が数多く残っており、今後とも積極的に取り組んでいく必要があります。

また、発生が切迫する東南海・南海地震に対して、県民の安全・安心を確保する取り組みも早急にすすめていく必要があります。

現状と課題

多発する自然災害

背後に険しい四国山地がそびえ急峻な地形を呈していることに加え、中央構造線等の大きな断層が県土を縦断し、脆く崩れ易い地質が広く分布していることから、浸水被害や土砂災害が多発しています。

また、発生が危惧されている東南海・南海地震は、プレート境界型の地震で大規模な津波が発生するという点で、平成23年3月に発生した東北地方太平洋沖地震と同様の特徴を有しており、甚大な被害が予想されています。

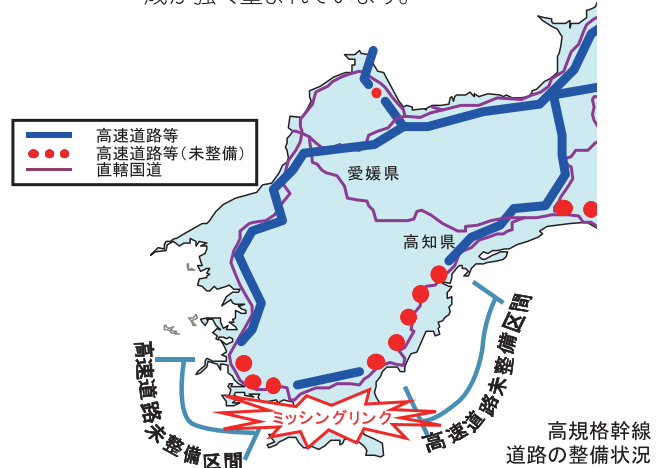
このため、県民の安全・安心に向けた取組が急がれています。



平成23年台風第12号(西条市)

交流と連携

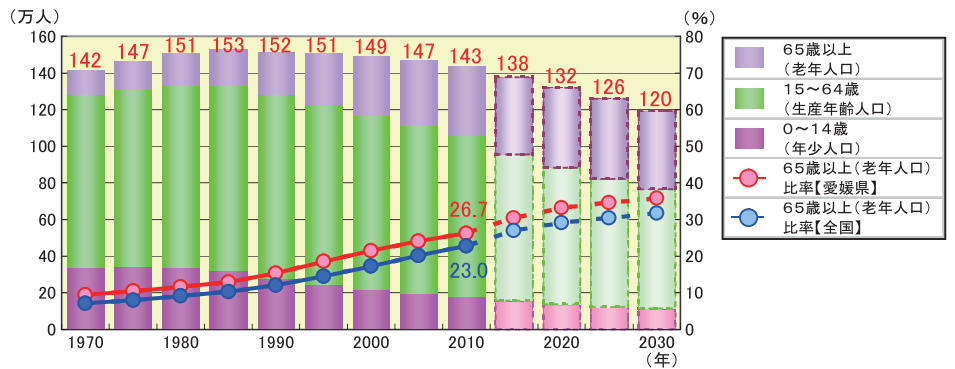
本四3橋の開通や四国8の字ルートの進展で、本州等との交流が大幅に増大する一方、他地域との連携強化や地域間競争への対応などが求められており、既存施設の効果を最大限に活用した地域づくりや、効果を最大限に発揮させるための高速道路ネットワーク等の早期完成が強く望まれています。



少子・高齢化

本格的な人口減少と高齢化時代を迎え、本県でも人口の減少が続き、老年人口(65歳以上)の割合は全国水準よりも早いペースで高齢化が進んでいる

ことから、人口減少が地域経済に与える影響を緩和するための地域活性化や、高齢者が安心して生活できる社会の構築が必要となっています。



環境との共生、ゆとりの創造

標高西日本一の霊峰石鎚山(標高1,982m)をはじめとする美しい山々とそこから流れ出す無数の清流、風光明媚な大小200の島々が散在する瀬戸内海や宇和海など、全国に誇れる自然豊かな景観に恵まれており、これらの貴重な財産を守り、未来に引き継いでいく必要があります。

また、人々の生活の力点が心の豊かさや余暇、家庭生活の充実へと変化しており、豊かな自然環境とのふれあいができるゆとりと潤いのある空間の確保が必要となっています。



面河溪谷

都市の再生と活性化

高速交通体系の整備推進にともない、県民生活や経済活動の広域化と利便性が図られる中、県境を越えた都市間競争に対応するため、渋滞緩和や主要施設とのアクセス向上等の都市内交通の円滑化や、快適で賑わいのある魅力あるまちづくりなど、都市の機能強化に取り組むことが必要となっています。



南江戸踏切(松山市)